

- 関西国際空港における給油対応力の強化に向けて、関係事業者・機関において、給油作業員の採用強化など人材確保に直結する取組のほか、処遇改善や業務効率化に資する取組等を順次実施中。（下記参照）
- これらの取組を含め、2030年インバウンド6000万人の目標達成等に向けて、関係事業者・機関による連携の下でより一層関西国際空港の給油対応力を維持・強化していくため、本年4月に官民検討組織を設置し、今後重点的に取り組むべき課題と対策について検討を進めているところ。

関係者による主な取組

人材確保

【凡例】

□ 取組内容（実施主体／時期）

- 給油作業員の積極的な新規採用（給油事業者／実施中）
- 関西エアポート(株)のグループ会社から給油事業者への給油資格保持者の派遣（関西エアポート(株)／昨年11月以降実施中）
- 関空において新規採用等を行った給油事業者への支援（関西エアポート(株)・関空促進協／本年4月～）

処遇改善

- 従業員休憩室（制限区域）の改修、女性専用休憩室の整備（関西エアポート(株)／11月以降予定）

業務効率化

- 給油事業者間での昼夜契約スワップによる供給力増加（石油元売り事業者・給油事業者／昨年11月以降実施中）
- 給油パネル操作訓練の相互承認の検討（エアライン団体／本年9月～）

安定的な給油体制の確保

- 契約内容に反するタンカリングでの運航に対して注意喚起を実施（エアライン団体／本年6月）

その他

- 泉佐野・空港間の深夜バスの運行再開による深夜アクセスの改善（関西エアポート(株)・バス事業者／本年8月～）

国土交通省による主な取組

- 本年4月より、関空における給油対応力の強化に向けた官民検討組織（WG）を設置。上記の取組を含め、WGでの意見交換やヒアリング等を踏まえ、今後、関係事業者・機関の連携の下で重点的に取り組むべき課題と対策について検討。
- 関係者による給油対応力の強化に資する取組に対して必要な支援を実施。